



# 道しるへ

「この道の向こうには、夢がある」

令和8・1  
No.70



## 令和6年 おやこdeアートin京セラギャラリー(絵画作品展)の作品から

### 京セラ賞



### 優秀賞



- 新年のごあいさつ、ブロック別懇話会、  
母子部地域別交流会…………… P2～3
- 結成75周年記念 京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会 …… P4～5
- 楽しいがいっぱい…………… P6～7
- 知っとコーナー、おしらせ、あとがき…………… P8



### 感謝と笑顔の一年に

皆様 新年あけましておめでとうございます。

令和8年の新春をお健やかに迎えられること、お喜び申し上げます。

コロナ禍が、ようやく落ち着いたと思えばインフルエンザが流行する気の抜けない日々が続いておりますが、結成75周年記念京都府母子寡婦福祉研修大会では、皆様方のお陰を持ちまして無事に終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

また、永きに亘り会を支えていただき、ご支援をいただくなどの功績により知事表彰並びに会長感謝状を受賞されました皆様には、改めましてこの機会に敬意と感謝を申し上げ、なお一層ご活躍、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

さて、直近の国民生活基礎調査でも見られるとおり、ひとり親世帯の相対的貧困率は44.5%と依然高い数値を示していますが、とどまることの無い諸物価の上昇は著しく、中でも生活必需品や食料品など生活に直結する品目の価格が上昇を続けるなど、私ども母子・寡婦を取り巻く生活は、一層厳しくなっています。

### 京都府母子寡婦福祉連合会 会長 常塚 朋子

こうした状況の中、いち早くこどもの居場所を通じ配布事業を立ち上げてくださった京都府をはじめ、きょうとフードセンターや多くの皆様方による食料品・生活必需品、また食事券の提供やファミリーキャンプ、サッカー観戦、野球体験教室、舞踊会などイベントへの招待、ランドセルの寄贈、地域の各種主催事業への助成など多岐にわたり物心両面の支援をいただいておりますこと、大変心強く、深く感謝申し上げます次第です。

或るひとり親家庭のお母さんは、お米を抱えながら「助かります」と笑顔で帰って行かれましたが、そうした姿を見る都度、私たちまで嬉しく、笑顔とエネルギーを貰っています。

今後とも、会員の皆さんと共にしっかり手を携え、感謝と笑顔にあふれた会にしていきたいと思っておりますので、引き続き、私どもひとり親家庭への支援に皆様のお力添えをいただきますよう、どうかよろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、西脇知事様をはじめ関係各位の皆様にご挨拶申し上げますとともに、日々活動を支えていただいている会員の皆様方に感謝を申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

### ブロック別懇話会

平成29年より始まり、北部・中部・南部の地域毎に支会役員や母子連絡員の皆さんが集い、それぞれの地域特性に応じた活動や取組みについての情報交換や勉強会、地域の関係団体との連携強化の取組み等を行っています。

#### 北部

令和7年7月6日◎  
参加者18人

宮津市母子寡婦福祉会 早栗百合子  
宮津と謝消費者センターから講師に来ていただき、「トラブルの被害者にならないように」と題した消費生活相談の話を聞き、その後に各支会での活動の情報交換をしました。

いきいきふれあい事業の参加状況、母子会独自の行事などの情報交換をすることで、今後の母子会活動のヒントを得ることができました。

消費生活相談で学んだのは、最近、いろいろな手口で特殊詐欺が増えていることで、安心・安全な毎日を送るために、お話いただいた事例を通して考えることができました。



#### 中部

令和7年8月3日◎  
参加者13人

南丹市母子寡婦福祉会 勝田恵美子  
母子部地域別交流会と同日にしたこと、手作業をしながらの意見交換にしたことで、あまりかしこまらずに自然に話せて、それぞれの支会の普段の様子を聞くことができ、これからの活動の参考になるような機会となりました。



#### 南部

令和7年6月22日◎  
参加者28人

長岡京市三つ和母子会 松田 直子  
前半にレジリエンスセミナーとして武部弘子先生にお話を聞き、講演の感想などの意見交換をしながら、支会のそれぞれの活動内容などの情報交換をしました。

レジリエンスとは聞きなれない言葉ですが、困難な状況を乗り越える力というイメージです。「今後に活かしていきたい」「もっと早く知りたかった」などの感想もありました。

情報交換をする中で、それぞれの支会の課題ではなく、共通する課題も見えてきました。今後の懇話会では、話し合った内容が、それぞれで活かせるような話の情報交換の場となるようにしたいです。



### 未来に向けて輝き続ける京都づくりに挑戦

### 京都府知事 西脇 隆俊



あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎え、国と協力して新しい文化政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できたことにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会ともなりました。

「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥（ぜあみ）が「風姿花伝（ふうしかでん）」に残した後人への心得です。当時の大衆芸能であった猿楽（さるがく）を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育てあげてきた、かけがえのない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容れ、常に技術の進歩を人々の幸せにシなやか

に結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっています。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人の絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたたく育みながら、将来に向かって夢を抱いていける、「あたたかい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支「午（うま）」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

### 母子部地域別交流会

支会の枠を越えて、北部・中部・南部の地域毎に、母子会員が調理実習や工作、懇話会等を通して交流する機会を作り、会員相互の連絡や協力を密にすることを目的に活動しています。

#### 北部

令和7年7月6日◎  
参加者20人

宮津市母子寡婦福祉会 足立 清美  
子どもさんの参加が少なそうだったので、『大人でも学び甲斐のあるもの』をと、京都府地球温暖化防止活動推進センターから講師をお招きして、地球温暖化問題・SDGs・再生可能エネルギーをテーマにお話を聞いて、ソーラーレインボーハウス作りをしました。工作の材料も『大人が本気で工作する』イメージでした。  
楽しく学べたとの感想をいただきました。



#### 中部

令和7年8月3日◎  
参加者43人

南丹市母子寡婦福祉会 平田栄美子  
親子陶芸教室を開催したところ、予想を上回る申込み・参加となりました。  
親子で協力して作品作りに取り組み、他の参加者との会話も弾ませながら、楽しい時間を過ごすことができました。  
懇談ではみなさんの意見や感想のほか、子育ての知恵や経験、ちょっとした情報などの内容で交流しました。



#### 南部

令和7年6月22日◎  
参加者39人

長岡京市三つ和母子会 松田 直子  
阪神淡路大震災から30年経ったこともあり、防災教室を開催しました。講師の話の後、『くつはいた』というボードゲームをしました。  
非常食の試食として、アルファ化米のご飯と豚汁を作りました。  
災害時に子どもが対応できるように家族間でルールを決めておくこと、ボードゲームを通じて、災害時に必要なものなどを考えるきっかけとなりました。



【とき】 令和7年10月12日（日） 【ところ】 京都テルサ

### 体験発表

#### 一步踏み出す勇氣

綾部市母子寡婦福祉会 足立 明代



今日は、子どもたちの不登校や人間関係の問題、そしてそれによる生きづらさ乗り越えて、どのように私の人生観が変わったかをお話したいと思います。

私には、高校1年の長女、中学2年の息子、小学6年の次女の3人の子どもがいます。

3人とも学校に行きにくい時期があり、息子は小学校5年生の時から学校に行かないことを選択しました。自分の意志で今は登校できている次女も、学校に行かない時期がありました。

私は学校の先生とのコミュニケーションがなかなかうまくいかず、「子どもの気持ちをなぜ理解してくれないのか」と思う一方で「私の考え方が子どもを甘やかしているのではないかと自己疑問にも悩みました。先生方が子どもたちに「少しでも学校に来てほしい」と願う中で、その期待に応えられない自分に対する罪悪感もありました。

学校だけではなくさまざまな場所に相談しましたが、子どもたちが学校に行けるような関わり方や、引きこもりがちになっている子どもを少しでも外に出す方法ばかりを模索していました。

ここで少し私自身の話をします。

私は看護師として働いていましたが、家庭環境や人間関係の問題で転職を繰り返しました。ある一定の期間働くと自分がその場所に適応できていないと感じたり、パワハラに遭うこともありました。転職し続ける中で、私は「本当に自分がしたいことは何か？」を深く考えるようになりました。

精神的に追い込まれた私は過呼吸や軽度のうつ状態となり、昨年6月には安定剤などの薬を処方され、とうとう仕事を休養することになりました。このままだとまた同じような苦しみを繰り返すのではないかと恐ろしく、私は変わりたいと強く思いました。

そんな時に友人の紹介で出会ったのが「MIRAIYUKU」というフリースクールです。そこは大人も子どもも受け入れてくれる場所でした。子どもたちを救うためには、まず母親である私自身のメンタルが大切だと学び、メンタル面を強化することに注力しました。

それまでは周囲の目を気にしすぎて、何事にも自信を持てずにいましたが、少しずつ自分のこと、そして子どもたちのことを大切にできるようになりました。生きることは楽しいと感じ「フリースクールをつくる」という目標が生まれ、人生が大きく変わりました。

同じ頃、母子会会員の方が努力で夢を叶えた話を知り「自分の進みたい道に一步踏み出す勇氣」をもらいました。

また、これまで受け身で母子会のイベントに参加していた私に対して、「副母子連絡員をやってみないか？」というお話をいただきました。そのとき私は役員の方がわざわざ家まで王将弁当を届けてくださったことを思い出しました。その優しさ感謝の気持ちが湧き、次は私が役に立ちたいという気持ちになり役員を引き受けました。それと同時に綾部市にフリースクールも立ち上げました。

今まで述べてきたさまざまな活動を通じてたくさんの方々を支えられてきたことに気づき、感謝の気持ちでいっぱいです。メンタル面を学んだおかげで、どんな困難な状況でも、対立するのではなく、それを自分の成長のチャンスと捉えられるようになりました。

今は、本来の自分らしく、自分軸で生きることができています。フリースクールや母子会の活動を通じて他者貢献できることが、今の私にとっては何よりの喜びです。

人生は「誰と関わるか」で大きく変わります。これからも多くの方々のお力になれるよう、活動を続けていきたいと考えています。



### 結成75周年記念 知事表彰及び会長感謝状贈呈



知事表彰 10名  
出席の受賞者に古川副知事から手渡されました。



会長感謝状 18名 5団体  
常塚会長より手渡されました。

### アトラクション

#### 和太鼓演奏&篠笛演奏 和太鼓集団“AKISHIRO”、比江島さとるさん

和太鼓集団団員として世界各国で講演をされ、地元に戻ってからは山城地域の城陽で和太鼓京都道場を開設されたり、山城ボンパイ実行委員会を主宰されるなど活躍をされている福田久人さん率いる和太鼓集団“AKISHIRO”、篠笛コンテストで第1位を取られるなど、京都・大阪・滋賀を中心に広く活躍されている比江島さとるさんの共演で迫力ある素晴らしい演奏をしていただきました。



来年は令和8年10月25日（日）京都テルサで開催予定です。ぜひ、ご参加ください！

#### 私にとっての母子会とは

舞鶴市母子福祉会 平野 香奈



私は約10年前にシングルマザーとなりました。母子家庭として子どもを育てると決めた際に、自分に課したことがあります。一つ目は、子どもがやりたいと言ったことは何でもやらせてやること、二つ目は、周りから母子家庭だからといわれぬように、子どもが不憫な思いをしないように気を配ることです。その頃の私は、自分に課したことを達成するために、二人の子どもの育児をしながら経済的な自立に向けて看護学校に通いだしていました。自分がキャパオーバー気味になっていることを感じながらも、とにかく日常をこなすことに精一杯で気を張って過ごす毎日でした。子ども達は、環境の変化に戸惑いながらも私の前では明るく過ごしていましたが、実際は寂しさを感じていたのではないかと思います。

そんな時に舞鶴市の広報紙で、母子会がいきいきふれあい事業をやっていることを知り、気分転換になるのではないかと子ども達を誘って参加しました。ここから私たち家族と母子会の関係が始まりました。自分自身がシングルマザーとなるまで、ひとり親家庭に対する福祉について考えたことがなく、母子福祉会という団体の存在さえも知りませんでした。イベントに参加するようになり、最初は知り合いもおらず家族だけで過ごしていましたが、徐々に顔見知りができました。また、常塚会長に居場所への参加を提案していただき、役員さんや他の親御さんとの関わりを持てるようになりました。特に子ども達は、他学年や違う学校の友

達ができ、交友関係も広がりました。そして、居場所へ参加し長期休暇の宿題を行ったり、受験勉強を先生に見てもらうなど、勉強面でのサポートも手厚くしていただきました。都合がつく時には週に三回ほど居場所へ参加しながら、自宅で勉強してわからない問題があると電話で相談したり、郵便でプリントのやり取りをするなど、様々な方法でサポートを受けながら、子ども達は第一志望の学校に合格することができました。

私は今となっては母子会の役員として活動させていただいていますが、子育てに限らず様々な悩みを母子会で出会った方々に相談させていただくことで、前に進んできた過去があります。親友と呼べる友達はいませんが、シングルマザーとして人生を歩んでいる中での不安や悩み事は、母子会の皆さんに相談するのが一番参考になり心に刺さったように思います。そして、子ども達も成長し私の子育ては、後少しで終わろうとしています。母子会と出会えたことで、私も子ども達も外の世界と関わる機会を得て、たくさんの方と出会い、視野を広げることができました。母子会という存在がなければ、私達家族は今とは違う形になっていたと思います。

最後に、私の今後の目標は、一人で不安を抱えている親子のサポートをし、親子で過ごす時間をもっと増やしたいと考えている家族が、母子会と出会えるようお手伝いをする事です。また、その後の生活に潤いを与えられるような活動をしていきたいと思っています。

#### 全国母子寡婦福祉研修大会



11月22日（土）・23日（日）米子コンベンションセンター（鳥取県米子市）で全国母子寡婦福祉研修大会が開催され、4名で参加してきました。

令和8年度は11月1日（日）長野県での開催予定です。

#### 近畿・中部地区母子寡婦福祉研修大会

9月14日（日）大阪市立男女共同参画センター中央館クレオ大阪中央で近畿・中部地区母子寡婦福祉研修大会が開催され、34名で参加してきました。



令和8年度は9月13日（日）大阪市の開催予定です。

全国大会では近畿・中部地区の代表として、近畿・中部地区研修大会では京都府の代表として、「ひとりじゃないよ。声を上げ、声をかけて未来へつなぐ」をテーマに当会眞鍋副会長が、事例発表を行いました。



寄付・寄贈

昨年に引き続き、カザマランドセル様から色とりどりのランドセルをたくさんいただきました。

- ・子どもさんもお母さんともとても立派なランドセルで喜んでおられました。
- 「大事に使わせます!!」とお母さまから「めっちゃかっこいい!!」とお子さまから
- ・保育園が休みの日、いただいたランドセルに宝物を入れてランドセルを背負ってます。



宇治市連合母子会が日頃からお世話になっている秋山様の農園で、宇治・城陽支会合同開催で芋掘りを実施されました。

宇治市連合母子会 北野ますみ

11月8日(土) 晴天で暑いくらいでした。参加人数は少なく寂しい感じでしたが、子ども達はお芋をたくさん掘ることができて大満足の様子でした。

昼ご飯は恒例となっている秋山様の作ってくださった豚汁、青谷学園(きょうとフードセンターの倉庫の役割をされています)からいただいたアルファ化米炊き出しセット、豚汁にうどんを入れた煮込みうどんと豪華な食事となり、みんなでお腹いっぱい食べました。

お土産はお芋や柿をたくさん、加えて野菜(秋山様提供)、みかんゼリーやお菓子(きょうとフードセンター提供)などで本当にたくさんでした。

楽しい体験、お腹も満足、お土産たくさんで、とても充実した日となりました。



原材料費の上昇による物価高騰が長引き、私たちの生活は依然として厳しいですが、今年も食料品・生活必需品等配布事業の委託を受けることができ、各支会で取り組みました。



- ・もう高くて今年は新米を食べれないと思ってました。
- ・新米、贅沢! お正月に食べます。
- ・少しずついろんなものが入ってたので食べるのが楽しみです。
- ・使う場面が多いものばかりで嬉しいです。
- ・ゴミ袋や調味料、とても助かります。物価高の今、本当に助かります。
- ・物価高で安いものを選んで買うか買わないか迷う、そんな毎日、子どもにも我慢ばかりさせてしまっています。
- ・毎日の食費に気を使って生活しているため、とても助かります。

一般社団法人全国食支援活動協力会様を通じて、株式会社王将フードサービス様の「お子様弁当」を提供していただいております。

メニューは、餃子・唐揚げ・ウインナーで、子ども達が好きなものばかりです。

サラダとお味噌汁を追加して、こどもの居場所で活用させていただいています。



子どもの誕生日をお祝いできるようにと、社会福祉法人京都府共同募金会が、こども食堂向けに『ほっとはあとパースデー』として、ケーキを提供して下さっています。

毎月持ってきてくださるので、月1回の子どもの楽しみです。



京都新聞社会福祉事業団に対し京都市内の貿易商社長様から「子どもたちのための支援事業に使ってほしい」と多額の寄付がされたことから、新規事業「Ocean Smile こども未来プロジェクト」を始められました。その事業として、大手回転寿司チェーン店の食事券をいただけることになりました。

招待行事

2025年明治安田JリーグのJ1リーグを京都サンガF.C.は3位で終了しました。

10月4日(土)に「京都サンガF.C.ハートフルシート」supported by JR西日本の企画で、11月9日(日)にはWEラブ赤ちゃんプロジェクトの一環としてサッカー観戦に招待していただきました。

10月の川崎フロンターレ戦はナイター観戦、11月の横浜F・マリノス戦はとても見やすい良い席ということで、参加された方からは「また参加したい」の感想が寄せられました。



11月2日(日)「ローソン ファミリーキャンプ2025 in ハビロー! の森 京都」が開催され、招待していただきました。

野外での活動は、お母さんのリフレッシュ、子ども達の貴重な体験の場となりました。



(株) ローソン様のHPより

社会福祉法人読売光と愛の事業団大阪支部様を通じて、日本舞踊「坂東会」様のチャリティー舞踊会(11月1日(土) 祇園甲部歌舞練場にて)の招待をとお声かけいただき、当会からは8名を招待していただきました。



いきいきふれあい事業

親子のふれあいと参加者相互の交流を目的とし、京都府及び京都新聞社会福祉事業団から後援・助成を受けて、各支会で楽しい企画を実施しています。

令和7年度の行先で多かったのは、  
1位 神戸須磨シーワールド(3支会)

オルカのショーが  
すごかった



同1位 カップヌードルミュージアム(3支会)



好きなスープと  
具を選んだら  
自分だけのカップ  
ヌードルの完成!

こどもの居場所づくり事業

11支会で取り組んでいただいているこどもの居場所づくり事業の紹介動画を作成いたしました。

DVDは各支会で保管していただいておりますので、ぜひご覧ください。



動画の1コマ

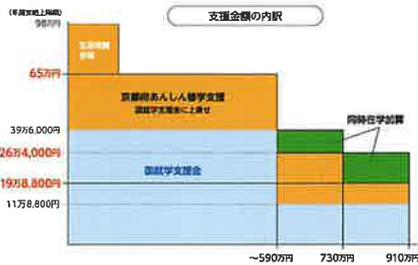
## 知っとコーナー

高校の授業料無償化については現在検討中ですが

### 高校生の学びを支える制度

高等学校等就学支援金制度により年収約910万円未満世帯の高校生の公立高校の授業料が無償となりました。これに加えて令和7年は、高校生等臨時支援金により年収約910万円以上世帯の高校生にも年額11万8,800円の支援となりました。

京都府では、私立高校に通う生徒が安心して勉学に打ち込めるように、学費等の支援が行われています。



他にも、家計が急変した場合の授業料以外の教育費を支援する制度（京都府奨学のための給付金）や府内の公立高等学校への通学で多額の通学費を負担されている家庭への通学費の一部補助（高等学校生徒通学費補助金）、京都府立高等学校学習用端末購入費補助金などがあります。いずれも学校を通じての申請となり、申請要件がありますので注意が必要です。

## 令和9年度入学者選抜から

### 京都府公立高校の入試制度の変更点

京都府公立高校の入試は、受験生が主体的に自身の個性や能力に応じて高校を選択できる制度です。

令和9年度入学者選抜の入試制度は、以下の点について変更が予定されています。

- ①受検回数を2回へ
- ②現行制度と同様に複数校の志願が可能
- ③検査日は2月中下旬（独自枠と共通枠、連続する2日間で検査を実施）
- ④電子出願の導入（WEB上で出願情報を事前登録、願書の提出、WEB上での合格発表）

※内容は令和7年12月時点で公表されているものであり、すべて予定です。令和8年夏に策定される「選抜要項」で定められます。

### 学びたい気持ちを応援

返済不要の給付型奨学金を紹介します。

- ・夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」
  - ・あすのば入学・新生活応援給付金
  - ・京都新聞愛の奨学金
  - ・独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）
  - ・公益財団法人中信育英会奨学金
  - ・公益財団法人ほくと育英会奨学金
- 上記以外にもいろいろな給付型奨学金制度があります。インターネット等で、ぜひチェックしてみてください！



## 母子寡婦福祉指導者研修会

母子家庭及び寡婦の自立促進と地域母子会の発展に向けて、地域母子会のリーダー的立場にある方への研修を行っています。ぜひご参加ください。

日 時：令和8年2月15日（日）  
13時30分～15時30分

場 所：ハートピア京都（京都市中京区）

参加対象者：各支会の役員、母子連絡員など



## ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

今年も京都府・府母子寡婦福祉連合会・府民生児童委員協議会の共催で、次のとおり開催されます。

知事さんと一緒に親子でゲームを楽しめます。

日 時：令和8年3月1日（日）10時30分～14時（予定）

場 所：ハートピア京都（京都市中京区）

参加対象：新入学児童とその親（兄弟姉妹も一緒に参加していただけます。）

※昨年に申し込んでいない在学1年生も対象です。

※他の都道府県及び京都市にお住まいの方は対象外となります。

内 容：お祝いの会（知事と一緒に親子でゲーム、記念品のプレゼント）

あそびのひろば（子ども）、講演会（親）

申込方法：各地域母子会会長まで

申込期限：令和8年1月30日（金）



あけましておめでとうございます。昨年の食品値上げ品目2万件以上、平均値上率15% お米は2年前の2倍に。生活のやりくりが大変な年から、少しでも安心できる年にと願っています。昨今のスマホ時代？で、様々な情報が飛び交い、冷静に真偽を見極める力を身につけることが必要になっています。スマホ等の文字だけでは、相手の感情や表情はわかりません。人との出会いや交流は、視野が広がり、多角的に物事を見られるようになり、何よりも、必要な時には関わられる関係を築けます。仲間とのつながりを大切に、心のリフレッシュや支えあい、新しい視点や学びの場、交流の場としてさらに羽ばたいていきましょう。（小玉）

## 社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 常塚 朋子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<https://hitorioya.kyoto/>

